

保坂征司院長 就任挨拶



平成31年4月1日付で院長に就任しました保坂征司です。当院は開院してから15年が経過し、地域の皆様の支えと職員の努力により、地域に必要とされる病院へと成長してきました。

例外なく宇和島にも少子高齢化の波が押し寄せており、今後増えると思われ、予想されるであろう疾患に備えることが必要です。そして宇和島の限られた医療資源を近隣病院とも連携を取りながら活用し、地域の皆様が安心して生活できるような安定した医療を提供すべく当院もなお一層努力してまいりたいと考えます。

私の専門分野は消化器外科です。扱う疾患は、ヘルニアや胆石症に虫垂炎・胆のう炎といった炎症疾患、さらには胃癌・大腸癌などの消化管悪性疾患です。現在はこれらの治療は小さな傷でテレビモニターを見ながら治療する腹腔鏡手術が主流となってきており、患者様の痛みの軽減だけでなく、治療の質の向上にもつながっています。当院はこれまで内科疾患や腎移植・泌尿器科疾患の治療を主としながら、全国に70余りある徳洲会系列病院のネットワークを活用し幅広い医療を提供してきました。これまで築き上げてきた当院の地域における役割も踏まえ、これまで通りの医療を継続・発展させることを基軸としつつ、私自身少しでも外科疾患の治療を当院で完結できるように貢献できればと思っております。

私はこの病院には10年前から携わっております。特に直近の2年間は毎月訪れており、宇和島の地理もある程度把握するまでになりました。新鮮な海産物も豊富で、歩くたびに新たな発見がある街です。私には海に接した地域での長期生活経験がありませんのでちょっとわくわくしています。

今後ますます地域には欠かせない病院となれますよう、質の高い医療の実践を目指し全職員一丸となって研鑽に努めていきたいと考えております。

どうぞこれからも当院をご支援賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

相原雅永看護部長 就任挨拶



2019年4月1日付で看護部長に就任しました相原と申します。徳洲会グループの離島病院や関東の新設病院で看護部の責任者を務めてまいりましたが、このたび川口看護部長の後任として転勤いたしました。

初めて宇和島に来た際に何故か懐かしさを感じました。小中学校を北海道の漁師町で育ったせいかもしれません。食べ物もおいしく、何と言っても人のやさしさに魅かれました。

当院は開院して15年、地域の皆様に支えられ成長してきたと聞いております。これからも皆様の健康の維持、そして、たとえ病気や障害があっても住み慣れた地域で過ごせるようご支援できればと思います。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

平成31年度 入職式



平成31年度、入職式が4月1日(月)当院2階会議室にて行われました。

院長、看護部長及び、各所属長が出席し、看護師8名・准看護師4名・理学療法士3名・作業療法士1名・介護福祉士1名・厨房員1名・看護補助1名の計19名が入職。1人ずつ、保坂院長より辞令交付を受けました。

オリエンテーションでは、少し緊張した面持ちではありましたが、当院での新しい一步を踏み出しました。

理学療法士 大谷 海斗 (西予市三瓶町出身)

1日でも早く現場に慣れ、患者様が安心して一人一人、笑顔で退院できるように頑張ります。

作業療法士 土居 由香里 (宇和島市吉田町出身)

地域と密に関わる当院の一員となり、高齢化が進む宇和島市で医療の大切さを日々感じています。

先輩方の指導のもと知識や技術を高めていきたいと思えます。



辞令交付



初期消火活動



オリエンテーション



院内の防火設備の見学

看護師 井場木 愛 (愛南町出身)

小さいころから看護師として働くという夢のスタート地点に立つことができました。先輩方のサポートを受けながら新人だからこそ気づけることを大切に、知識や技術を身に付け患者様一人ひとりの個性にあった安心で安楽な看護が提供できる看護師になれるよう日々努力していこうと思います。